

凸凹宝島騒動 (1942)

PARDON MY SARONG

メディア 映画

ジャンル コメディ アドベンチャー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 84分

初公開日 1947/12/30

公開情報 セントラル

【解説】

凸凹を観たくなる時は、今で言えばレスリー・ニールセンを観たいと思うのに近い、脱力感に浸りたい気分の時だ。谷啓も模倣したコステロのワンパターンのダブル・テイクの笑いと、設定の陳腐さが逆に心地良いこともたまにはある。が、コステロをいじめるっつきり能のないアボット＝ウドの大木に腹が立ってしまいがち。割と活劇ふうに場面転換の多い本作はその点変化に富んで、スラップスティックな笑いも多く、満足のいく出来だ。バスの運転手だった凸凹コンビが金持ちのヨットの乗組員として雇われ、南海の小島に上陸。寺院の秘宝を狙う悪党たちの邪魔だてをするという物語に新味はないが、彼らが失職する冒頭の件りからギャグは豊富。波止場でバックさせすぎてバスを沈めたコステロ、海底で必死にワイパーを動かすーといったお決まりに、客が悠然と泳いで出ていくという詰めが効いて、こゆう余裕は比較的彼らの笑いにはないものだ。ノコギリザメとの追っかけで波乗り板が水上スキーと化す所などドタバタが要所を締め（不発のものもあるが）、サゲも彼らにしては気が利いている。

【クレジット】

監督	アール・C・ケントン	Erle C. Kenton
製作補	アレックス・ゴットリーブ	Alex Gottlieb
脚本	トルー・ボードマン	True Boardman
	ナット・ペリン	Nat Perrin
	ジョン・グラント	John Grant
撮影	ミルトン・クラスナー	Milton Krasner
音楽	チャールズ・プレヴィン	Charles Previn
出演	バッド・アボット	Bud Abbott
	ルー・コステロ	Lou Costello
	ライオネル・アトウィル	Lionel Atwill
	ヴァージニア・ブルース	Virginia Bruce
	ロバート・ペイジ	Robert Paige
	ウィリアム・デマレスト	William Demarest
	リーフ・エリクソン	Leif Erickson
	サミュエル・S・ハインズ	Samuel S. Hinds
	ナン・ウィン	